

ふるさと歴史散歩

〔第79回〕 道隆寺②

土地の民話は、しばしば、その地域の成立や歴史を織り込んで作られたものが見られる。そのような民話は、それなりの意味を持っており、大切にして後世に伝えなければならぬ。しかし、民話はあくまでも民話の世界であって、その内容が史実とは限らないことは言うまでもない。道隆寺の略縁起の「いせ」と約150年後に出版された『芸備名取合』の「いせ」、昭和7年刊『芸州府中荘誌』の「伊勢」を比べると、『芸備名取合』と『芸州府中荘誌』の「いせ」は、いずれも小倉百人一首の「伊勢」、その人であると記している。

「いせ」が小倉百人一首に見える「伊勢」と同一人物か否か考察する必要がある。「伊勢」は三十六歌仙の一人で小野小町や中務、斎宮女御らと並ぶ平安朝の著名な女流歌人である。女流歌人の「伊勢」は、伊勢守藤原経隆の娘で、「伊勢の御」とか「伊勢の御息所」と呼ばれた。宇多天皇の皇子と結婚し、中務を産む。中務も平安中期の女流歌人で三十六歌仙の一人に選ばれている。この「伊勢」の生没年月日は定かでないが、生年は貞観十四年（872）か元慶（がんぎよう）元年（877）と推定され、没年も天慶元年（938）か天慶二年（939）とされている。そうすると、小倉百人一首の「伊勢」は道隆公（953年生）995年没の生まれ14年前に没している女性で同一時代ではない。『芸備名取合』と『芸州府中荘誌』は、

平安朝の著名な女流歌人で三十六歌仙の一人「伊勢」を安易に付加したか、混同したものと考えられる。細かいことだが、『芸州府中荘誌』の文中にある、「永祥元年」の年号は平安時代の年号にはなく、明らかに「永祚」の間違いである。したがって、道隆寺に伝わる「安芸国府道隆寺本尊略縁起」は脚色されていない比較的古い段階の由来を語っているものと考えられる。そして、道隆寺口伝書にある「いせ」という信仰心篤き童女と、藤原道隆の話は寺名から見て無関係でなく、史実に近いものであろう。

府中町文化財保護審議会会長

横田 禎昭



道隆寺略縁起木版



棟札・護摩札



正しいごみ出しにご協力を

府中町環境センター ☎286-3266

みんなで守ろう！ごみ出しのルール

🗑️【ごみの出し方について】

- ◆ごみは、必ず収集日の午前8時30分までに、決められたものを正しく分けて決められた場所に出してください。なお、収集日の前日や深夜にごみを出すことは、止めてください。
- ◆生ごみは、水分をよく切って出してください。十分な水切りは、焼却炉の燃焼効率を高め、経費の節減になります。

🌧️【雨の日のごみの出し方について】

- ◆新聞・雑誌、ダンボールは、袋の中には入れないで、ひもで縛ってください。雨にぬれてもかまいません。
- ◆衣類は、雨にぬれるとカビが発生しやすくなり、再生利用ができなくなりますので、袋の口をしっかりと縛るか、天気の良い日に出してください。

収集日や分別方法については、「平成22年度版家庭ごみの正しい出し方・ごみの収集案内」をよく読んで、間違わないようにごみを出してください。府中町ホームページ（生活・環境＞ごみ収集＞家庭ごみの収集案内）にも掲載しています。

「平成22年度家庭ごみの正しい出し方」配布場所

- 役場（住民課・環境課）●南交流センター
- 環境センター●府中公民館●南公民館
- 福寿館●ふちゅう情報プラザつばき館（イオンモール広島府中ソレイユ内）●くすのきプラザ

ごみの不法投棄は、犯罪です！